

## 壊れゆく“若者たち”

File.77 デジタル症候群 ~AppleWatchが  
人体を掌握する

文 石井 通明 text by Michiaki Ishii

先日Apple Watchの新シリーズが発表されました。Apple Watchをはじめとするスマートウォッチの革新的な進化は、徐々に私達の日常に変化をもたらしているのです。

例えば、GPS機能が備わっているApple Watchは転倒検知や緊急SOSなど、様々な形で人命救助に役立ち注目されてきました。そして、まだ話題になっていないのが「Apple Watchがうつ病などの心の病を検出することができるようになる」という研究です。

米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)はアップル社と提携し、Apple Watchを使用してうつ病に関する研究を始めました。この研究は3年以上かけて行われる予定で、睡眠パターンや心拍数、運動などの日常生活のデータを収集して、日々の行動要因がうつ病症状にどのように関係しているかを調べるそうです。

研究者たちは、この研究結果により、医療従事者がうつ病の早期警告サインを識別し、どのような場面で治療を施していくべきかの判断をしていけるようになる、といます。また、米国の



## Profile

東京都大田区生まれ。  
英国ウエールズ大学MBA(経営管理修士)。  
日本交渉学会会員。ハーバード流交渉学・消費者行動心理学・コンフリクトマネジメントを研究。日本コールセンター協会情報調査委員。  
株式会社クロコ取締役COO  
長年コールセンター運営に携わり、人と人のコミュニケーションについての研究を進めている。思いやりのコールセンターを展開。  
beecall03-6420-2088  
[http://www.beall.jp]

大学でスマートウォッチを利用してCOVID-19の感染を発症前に検知する方法を研究中だと、海外のメディアが報じています。

ほかに、人体に影響を与える研究があります。同じく米国にてイーロン・マスクが手がける新興企業であるニューラリンク社が、コンピュータチップを人間の脳内に移植することを研究しています。人間と技術革新の共存の進化は理解を超えるものばかりです。元々は生活が便利になればという技術革新ですが、人体の健康ばかりか脳や心までを掌握することになった時にヒューマンエラー防止の糸口が見つかるのかもしれない。ただ、その先に想定されるのはSFの世界が描いたような「サイボーグ」の存在なのかもしれません。

現時点で人々が身に付けている便利

なApple Watchをはじめとするスマートウォッチの数々が、人間を統制することになる時代への入り口だとしたら、私たちは日々の進化をどこまで喜ぶことができるでしょうか。憂いても始まらないかもしれませんが、誰にも止められない領域に突入し始めていると言えます。

最高の結果を得る「戦略的交渉の全技術」

石井通明

Business Negotiation Strategies and Tactics That Score the Best Deals

「対立をポジティブに解決する対話型の会話スキル」  
「感情を制御して有利に進く心理学スキル」  
「効果的な印象づけや交渉の方法」 etc.

絶対にYesと言わせるには「戦略的」な考えとスキルが必須!!

MBAの交渉学と心理学、現場の知恵を体系化

日本実業出版社

定価：1500円(税別)